

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報

## 現在の流行状況

熊本市で現在流行している病気はありません。  
 感染性胃腸炎患者の発生の報告数がやや増えています。

## 注目の疾患

### 麻しん(はしか)の予防接種を受けましょう

今年に入り、全国で麻しんの患者報告数が増加しています。今年の患者報告数は、昨年1年間の報告数をすでに上回っています。県内では今年3月フィリピンからの帰国者での報告があります。

○麻しんとは

麻しんウイルスを原因とした感染症です。空気感染のほかに、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」、及びウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。麻しんウイルスに感染後、10～12日間の潜伏期間ののちに発熱や咳などの症状で発症します。38℃程度の発熱及びかぜ症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。主な症状は、発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血などです。肺炎、脳炎といった重い合併症をおこすこともあります。合併症がなければ、主な症状は7～10日で回復します。治療は対処療法のみです。

○麻しんの予防接種を受けましょう

自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも予防接種は有効です。麻しんの発症を確実に防ぐためには、2回の予防接種を受けることが必要です。麻しんと風しんの定期予防接種対象の第1期(1歳児)、第2期(小学校入学前年度の1年間にあたる児)の方です。

期 間		第14週		第15週	
		3/31～4/6		4/7～4/13	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		91	3.64	67	2.68
RSウイルス感染症		1	0.06	3	0.19
咽頭結膜熱(プール熱)		3	0.19	7	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		25	1.56	27	1.69
感染性胃腸炎		114	7.13	135	8.44
水痘(みずぼうそう)		24	1.5	20	1.25
手足口病		34	2.13	22	1.38
伝染性紅斑(りんご病)		0	0	2	0.13
突発性発疹		14	0.88	6	0.56
百日咳		0	0	0	0
ヘルパンギーナ		6	0.38	6	0.38
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		2	0.13	2	0.13
急性出血性結膜炎		0	0	0	0
流行性角結膜炎(はやり目)		9	1.8	13	2.6
細菌性髄膜炎		0	0	0	0
無菌性髄膜炎		0	0	1	0.2
マイコプラズマ肺炎		0	0	1	0.2
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		5	1	6	1.2